

FUJIEDA ROTARY CLUB



藤枝ロータリークラブ会報

会長: 玉木 潤一郎 副会長: 江崎 晴城 幹事: 鈴木 邦昭 副幹事: 平野 純也・山田 賀昭

第2328回

2020-2021年度 R1テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

通常例会 / 小杉苑

■ 会長報告

玉木 潤一郎君

産業大学冠講座、昨日の担当は太田さん。大変興味深い内容ですから、村松繁さんの報告書をぜひお読みください。



大ブームを巻き起こしている「鬼滅の刃」ですが、私たちの好きな映画に、興業収入上位は入らないでしょう。

しかしビジネスマンの端くれとしては商業的な成功が気になります。

私はこういう考察が好きで、書いたコラムが yahoo ニュースやハフポストなどに配信されていますから読んでください。

ちなみにセノバでカフェを経営していますが、映画館の動員数は館全体の業績に大きく影響します。今は鬼滅様々です。

さて食品はもちろん、ファッションから交通機関までコラボ商品が出されており、作者はもうおそらく一生漫画を描かなくていいだろうなど羨ましく想像しています。

中高生の頃、角川映画がメディアミックスで大成功していました。

今回も原作、TV アニメ、音楽などを絡めていますが、角川との最大の差異はネット配信でしょう。

私も Amazon TV で全話見ました。

ネット配信について、タダで全て見られてしまったら買ってもらえなくなる、という既存概念は数年前にえんとつ町のプペルが打破しました。媒体としては絵本ですが、プロモーションに

使ったのはクラウドファンディング、中身の無料ネット配信、そして作者が著書でその種明かしをするという画期的な手法です。

全然ついて行けてませんが、まだまだ様々なビジネスチャンスがあると思います。

■ 幹事報告

鈴木 邦昭君

- ・英字版 the Rotarian が届きました。

■ 出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
37 / 40 92.50%	37 / 40 92.50%

- (1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

大杉君 鈴木舜君 仲田晃君

■ ビジター

IM 実行委員長 中野 強一郎君 (焼津南)

IM 実行委員 奥村 友枝君 (焼津南)

■ スマイルBOX

仲田 廣志君

- ・孫の所属するミニバスケットの高洲が県大会で優勝しました。孫が優秀選手に選ばれました。

松葉 隆夫君

スマイル累計額 98,000円

■ テーブルメイト報告

副会長
江崎 晴城君





A グループ
副リーダー
横山 稔君

(1) アンケート全体についての意見

- ・藤枝RCとしての諸活動をもっと積極的にPRしたらどうか。(広報強化)
- ・福祉施設への慰問やクリスマス会への参加など、以前より社会奉仕活動が減ってきた印象がある。

(2) 50周年記念事業についての意見

- ・地域に貢献できるような寄付や事業をやりたい。
通常実施しているロータリー財団や米山記念財団への寄付ではなく50周年ならではの寄付がいい。なおかつ形として地元に残るものとしたい。

例えば、

改修計画のある「藤枝総合運動公園サッカー場」の観覧席の一部を寄付(地元の木材を利用した木のイスにロータリーの名前を入れて寄付 等)

- ・寄付と統一感のある「サッカーのまち藤枝」らしい記念事業をやりたい。

例えば、

RC 50周年記念サッカー大会の開催(冠大会)

青少年大会?、女子の大会?、交流試合? など

- ・金銭面では地区の補助金を使用するのもありか。

不足する場合は、会員からの寄付も検討要。



B グループ
副リーダー
太田 暢裕君

藤枝ロータリークラブ 50周年を迎えるにあたって重点的に取り組むべきことを協議しました。現在の会員 37 名で記念行事をやるしかない。バブル前は 50 名以上いた。

そこで予算的にも人的にもやれそうな事業を藤枝市に探りを入れてみてはどうか。

例えば人目に付く場所に置く時計、気温計など。または、藤枝市長が肩入れしている青少年の剣道へのサポートはどうか(継続的に目立つものを続けるのが効率的では)

2022年4月の50周年まで時間がないため例えばサッカー教室を有名人を招いてやってみては。委員会が形骸化している気がする。多すぎるし引き継ぎもない。

やはり委員会の活性化が不可欠ではないか。新しい会員の増強が難しいのは新たな魅力を出せていない現状がある。

親睦をうまく使って勧誘できないか?

外部卓話が少ない、外部卓話で招いた人を勧誘できるしもっと増やした方がよい。

ロータリーを辞めた人にアンケートをとってみてはどうか?

【結論】

- ・親睦と委員会でクラブを活性化→50周年記念事業を大々的に行い成功させる→会員増強につながる。

- ・親睦と委員会をどう活性化するか?

- 1) 世の中に役に立つことでプレスに載れば宣伝になる

- 2) 貧困対策、孤独対策でこども食堂をやってみてはどうか(委託先に寄付)

- 3) 寄付が見える化すればクラブ会員のモチベーションが上がるのではないか?

私太田の意見としては、例会が伝達事項の共有に時間を割かれていて親睦や奉仕に時間を十分とれていないような

気がしますので、試験的に藤枝ロータリークラブのslackを立ち上げました。

このコミュニケーションツール slack を使って伝達事項や情報の共有を事前ネット上で行ったうえで例会を親睦や奉仕の時間に割り当てれば時間を有効に使用できてクラブを活性化でき新規会員の増強につながるのではと考えました。



C グループ
副リーダー
八木 晋介君

<内容報告>

1) 設問 1

- ・ほとんどのメンバーが、変革・時代にマッチしたクラブを目指してゆくことは、必要との意見。
- ・委員会編成の時、年齢・在籍年数等に関係なく、委員指名を行なったらどうか。＝公平性の観点から。

2) 設問 2

- ・奉仕活動＝職業奉仕だけで良いのか＝地域社会への社会奉仕も力を入れるべきではないか。
- ・広報は重要である＝会員増強に結びつく。
- ・会員それぞれ、個人間での親睦、交流も重要である。＝トラブル発生の時迅速な解決。
- ・ロータリーの基本の戻った活動、例会の進行を望む。
- ・例会の回数を、考えていただきたい。

3) 設問 3

(全ての項目が重要であるが)

- ・ポリオ根絶は、過去の活動になった。
- ・国際親善、未開発国支援よりも地域社会に対する地域に根を下ろす活動を行いたい。
- ・国際社会が混沌としてきているので、世界平和も重要なテーマである。

4) 設問 4

- ・組織の維持の上でも、会員増強は重要である。
- ・増強の場合、誰でも会員として勧誘するのは良くない。人柄、会社等をよく調べロータリーにふさわしい人を勧誘。
- ・青少年の育成・次世代リーダーの育成は重要なテーマである。
- ・地域社会への貢献についてテーマを決めたらどうか＝地域経済の発展に寄与することも重要。

5) 設問 5

- ・50周年の歩みは、記録として残すべき＝データ配信でも良いから。
- ・地域社会に必要とされる、思い切った資源の提供。
- ・ロータリー以外の寄付が多い。(国際的な)従って、50周年を節目に、地域社会へ思い切った、活動を実行して欲しい。
- ・国連のSDGsを基本とした、活動はどうか。

D グループ

副リーダー

北島 毅君



議題

藤枝ロータリークラブ 50 周年記念について

方針

事業・式典は必ず執り行う

討議内容

40 周年記念事業・式典について共有。

50 周年記念事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて 2 通りの事業案を作成。

事業内容を企画した上でクラウドファンディング活用により充実した事業とする。

記念事業

- ・講演事業

例：講演者：長谷部誠選手、

吉野彰先生（ノーベル賞受章者）

- ・寄付事業

藤枝市をはじめとする行政と協議の上対応。

- ・子供を対象にした事業

例：子供食堂など

- ・50 周年の記念誌作成

式典

市民会館にて執り行う。

出席者：藤枝市長、行政、地区内会長・幹事

新型コロナウイルス感染症の状況を加味する。



E グループ

副リーダー

辻 孝之君

「50 周年を迎えるにあたり取り組むべきことについて」

○今までの周年行事とは違うのではないかと

→ 50周年の重み、ただ単純に寄付とか寄贈に終わらない為の施策が必要、記念碑や石碑の建造では、何かライオンズクラブと変わらない、ロータリークラブのアピールは必要であり、形として残る事は考えたい

○具体的にはどんな事が考えられるか。

アンケートにも有る寄付・記念誌・寄贈や青少年育成も取り組むべきだが、観光とタイアップ出来る取組として、藤枝大祭りの年に当たり関連付けられないか、日本遺産に認定された東海道の祭りをアピールする→祭りサミット

藤枝市と静岡市が共同認定された日本遺産の東海道中膝栗毛による、日本初の「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さんと一緒に、ガイドブック（道中記）片手に街歩き旅→JR東海さわやかウォーキング

「サッカーのまち藤枝」をもう一度復活させる
→藤枝東高校 藤枝明誠高校 藤枝 MYFC

蓮華寺池の「池の水全部抜く」外来種駆除→
静大加藤教授（焼津市出身 藤枝東高卒 藤枝市在住）

SBS パーソナリティの鉄崎幹人の自然環境問題や自然に親しむイベント

藤枝市図書館の一角に「藤枝ロータリー文庫」コーナーを常設し定期的に図書の寄贈

ギネス記録に挑戦

※50周年という節目をどう活かして、藤枝ロータリークラブの今までの50年を振り返り、これからの50年を考えていく事が必要では

Fグループ
リーダー
平和則君



協議内容（設問5について）

- ① 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付は（少額であっても）実施したい。
米山奨学事業は、今後も国際理解を進める上で必要である。
- ② 記念講演は50周年の事業コンセプト（誰に、何を伝えるか）に沿ったものであれば「記念講演」を実施すべきではない。
- ③ 事業の方向性は、対外的より対内的に。具体的には国際や地区より藤枝市に向かって（為に）実施したい。
- ④ 会員親睦のための飲食は必要だと思う。
- ⑤ 50周年で取り組み事業として、ロータリーの重点分野の一つである「母子の健康」に関するものとして「シングルマザーの支援」が議論になった。SDGsの17の目標の一つに「貧困をなくそう」があり、日本の子供の6~7人に1人が貧困といわれている。
今後、この分野について勉強すると共に藤枝市の問題について調査・研究し、必要であれば奉仕活動に繋げていきたい。
- ⑥ モニュメント、ベンチなどの施設寄付は、クラブ広報としては効果が限定的であり、積極的に取り組まなくてもよいのではないか。
- ⑦ 50周年の歩みの記録は必要である。

確認事項

- ① 50周年は「かわらないもの。かわってゆくこと。」が事業コンセプトになるのか。その場合、記念事業はそれに沿ったものを実施すべきだと思う。



50周年実行委員長
森下 敏顯君

★冠講座

<開講日>

令和2年11月24日(火)

<講義内容>

「もし Google の CEO が町工場の社長
だったら」

～IT と AI による町工場サバイバル
経営～

<担当者>

太田工作株

代表取締役社長 太田 暢裕君

令和2年11月24日 13:20より静岡産業大学
ウイステリアホールにて第6回目となる冠講座が
開講しました。担当講師は、太田工作株式会社
代表取締役社長 太田暢裕氏です。

学生さんの出席は11名、ロータリアンが2名、
一般2名が聴講されました。

テーマは「もし Google の CEO が町工場の社長
だったら ～IT と AI による町工場サバイバル
経営～」です。

太田工作は紡績工場のボビン搬送を設計製作施工
する会社として創業しました。バブル崩壊で
紡績工場のほとんどが海外となったことで、
業態転換しました。



設計図をもとに、金属を加工する業態に変更です。
ここで太田氏は、得意のプログラミングを駆使
して、図面をデータベース化し、検索できる
システムを自力で構築しました。しかし、大手
工作機械メーカーからの仕事を受注し始めると、
そのデータベースでは対応できなくなります。
そこから再び太田氏は iPad と QR コードを使う
システムに変更しました。現在、このシステムは
独自性があり、会社に無くてはならないもの
になりました。



工場経営において、利益を出していくのは売上を
上げ、材料費や経費を下げていけばいいわけ
ですが、実際には、利益は在庫に置き換わって
しまうことが多いのです。なぜか？作りすぎて
しまうからです。では、なぜ作りすぎてしまう
のか？これは、機械が万が一壊れたり、止まって
しまった場合を心配しているからです。トヨタ
ではカンバン方式でこのような余剰在庫の発生を
防いでいます。

では、工場を効率的に稼働させるためにどの
ような点に着目する必要があるのか？ボトル
ネックに着目することです。工程の中の目詰まり
する部分がボトルネックです。工場はボトル
ネックの部分以上に生産できないのです。それを
無視して稼働すると仕掛り在庫の山となります。
太田氏の会社では、iPad と QR コードで着手時間、
完了時間を自動的に入力。図面と各種ノウハウを
画像で保存。それにより、ボトルネックの割り
出しとボトルネック部分を強化することが可能と
なりました。工場にボトルネックが無くなって
くると、ボトルネックは営業に変化します。
顧客を創造することがボトルネックになります。



以上のように、システムのグレードアップと
回転数を上げていくことで、無限大に事業は
伸びていくと考えています。現在、太田氏は

その考え方にに基づき、コンサルタント会社を立ち上げました。

太田氏は、残った時間の中でお金の歴史について語りました。トークンという証拠のモノを発行することがお金の起源です。そこから信用創造されて金融が発生します。古代では神が信用創造の権威を与えましたが、現代においてはその役割は国家が担っています。米国FRBの本部が神殿にそっくりなのは、そんな経緯があるからでしょうか？ (村松繁君)

四つのテスト



Rotary 2020~2021
国際ロータリー第2620地区静岡第4グループインターシティロータリー

困難な時にこそロータリーの結束を

日時
2021年3月13日(土)
登録受付 13:00 点検 14:00 懇親会 16:45

会場
ホテル アンビ・ア 松風閣
焼津市浜当日1541 TEL:054-628-3131

ホスト
焼津南ロータリークラブ

講師
SBS 静岡放送アナウンサー
小沼みのり (入社16年目)
1981年生まれ、静岡清水水産出身
清水第一高等学校卒業、2005年3月SBS入社
現在 Sole いろいろ、静岡森そごを担当。
16年間で静岡県全ての市町取材。ニュースキャスター、情報番組 MC、ラジオパーソナリティを経て、現在は、静岡県立大学、静岡大学、静岡学園など数校の授業、各都府県ロータリーの例会、焼津市民講座「プロダグの上手な読み方」などで講師としても活動中。

焼津ロータリークラブ 高田ロータリークラブ 藤枝ロータリークラブ
掛川ロータリークラブ 焼津ロータリークラブ 森井ロータリークラブ
焼津南ロータリークラブ 磐田ロータリークラブ 掛川グリーンロータリークラブ
焼津南ロータリークラブ

《11月～12月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
23	24	25	26	27
閉局	閉局	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	10:00~ 16:00
30	12/1	2	3	4
閉局	10:00~ 16:00	09:30~ 17:00	10:00~ 16:00	閉局
7	8	9	10	11
閉局	10:00~ 16:00	09:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
14	15	16	17	18
10:00~ 16:00	10:00~ 16:00	09:30~ 16:00	閉局	閉局
21	22	23	24	25
閉局	10:00~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局	10:00~ 16:00
28	29	30	31	
閉局	閉局	閉局	閉局	

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局
〒426-0037
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org



ソングリーダー…… 増田 貴行君
ソング…… 我々が藤枝ロータリー

(担当/村松繁君)